

#### 東海運

## 福岡に輸出入用拠点

### 札幌はワールド・ロジ利用

東海運(本社・東京、岩間貞三社長)は、三年間に拠点新設用の土地を購得して札幌市と福岡市に拠点を新設。愛知県弥富市

に拠点新設用の土地を購得して札幌市と福岡市に拠点を新設。愛知県弥富市

に拠点新設用の土地を購得して札幌市と福岡市に拠点を新設。愛知県弥富市

に拠点新設用の土地を購得して札幌市と福岡市に拠点を新設。愛知県弥富市

延べ床面積約三千三百平方メートルの倉庫を新設。ワールド・ロジ(本社・大阪市、森田賀典社長)の子会社で百貨店への納品代行を行うワールド・サプライ(本社・東京、大原泰夫社長)に賃貸する。

福岡市の拠点は、平成二十二年度に完成予定。土地は購入したが、建物の詳細は未定。最大で延

べ床面積四万五千平方メートルの拠点ができる。土地に二十億円、拠点に三十億円の投資となる。

東海運では、「大半を他社に賃貸して、一部を自社で使う形にしたい。輸出入貨物を扱え、通関などの機能もつけたい」とした。

愛知県弥富市は、同社のバンニング(コンテナへの積み込み)拠点があ

外部倉庫を使っている状況で、集約化を図る。現在、約二万五千平方メートルの土地を選定中

だという。集約化だけでなく、新規顧客の獲得も狙える施設の広さを考えている。土地への投資は約十一億円。拠点の完成時期・投資額は未定。